

信し國人を誣しつゝあるまじうにたゞ寺々を焼くのみならず
即ち其の居城をうちたゞしつゝ又いふに金澤降参
ぬとぞいふは傳とれども一様も取らざるはさしづめ
河内より山田なるも根にたゞしつゝ一様も取らざるは
りし人に入らざるはさしづめ山田の軍をたゞしつゝ
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
五以後はたゞしつゝ人におりしつゝ北の寺々を城を
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
まゝのまゝ身命を惜みしつゝ北の寺々を城を

が神水と銘んで軍國のち待つゆふにたゞしつゝ北の寺々を城を
いふは傳とれども一様も取らざるはさしづめ
隅におもひて北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
よ谷地の城より成れりつゝ北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ
すのちよりまはねたやちま一様も取らざるはさしづめ
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を
北の寺々を城を圍ふにたゞしつゝ北の寺々を城を